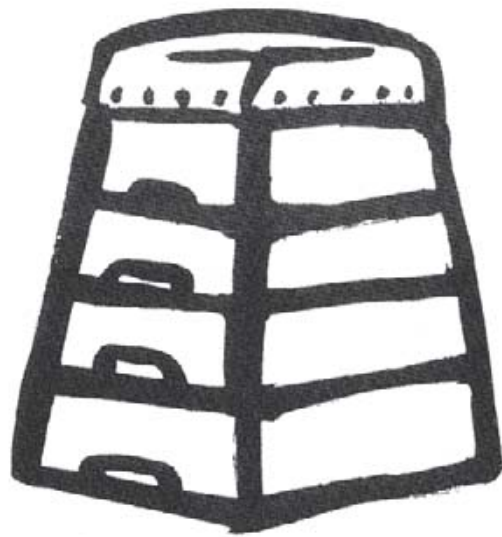


〔対 談〕

ジェンダー・バイアスを  
考える



# ジェンダー・バ

山村賢明氏  
(立教大学教授)

深谷昌志氏  
(静岡大学教授)

【はじめに】

ジェンダー論の根っこの部分に母親問題がある。そう考えて『日本人と母』の著者として日本土着の母親論を提示してきた山村賢明教授の話をお聞きすることにした。また山村教授は、パーソンズの家族理論の権威でもあるので、その話もお聞きすることにした。

(深谷)

## 日本の母親問題とジェンダー

深谷 ジェンダーについては、いわゆる男性と女性の問題は理論的にはある程度解決したといっていると思うのですが、どうしても話が難しくなるのは母親の問題ですね。母親の話がからむと途端にジェンダーの話の歯切れが悪くなる。そこで今日は、山村賢明さんにおいでいただいてお話をうかがいたいと思います。山村さんといえば『日本人と母』という名著がありますが、ご執筆なさったのはかなり古いですね。私たちは同じ大学院に行っていましたからよく覚えているのですが、大学院のときにもう発表なされてましたね。

山村 大学院の、いわゆるオーバードクターの頃に一部発表しました。昭和40年前後ですね。

深谷 まだジェンダーというような話はない頃ですね。

山村 ほとんどなかったですね。その頃、母親の問題などに取り組んでいた関係で、土居健郎さんの論文を知ったんです。土居さんがまだアメリカにいた頃で、英文で出した『甘え』に関する論文ですが、それを読んで感銘したことを覚えています。そこで私は、土居さんに『日本人と母』を献本したんですが、早速、土居さんから「私が思ったとおりだ」というようなご返事をいただきました。間もなくして土居さんは『甘えの構造』を日本で出されて有名になりました。その後大分たってから、河合隼雄さんの『母性社会日本の病理』とか、小此木啓吾さんの『日本人の阿闍世コンプレックス』などが出たわけです。

深谷 土居さんの論文が刺激になったということはわかるのですが、ほかに何か動機はなかったのですか。

山村 『日本人と母』というテーマの研究は最初是小集団から出発したんです。集団というのは理論を学んでいくうちにフロイトの集団理論というものがあるのですが、結局家族とか親子関係から出発しているのです。しかし日本の親子関係は違うのではないかと、ところから母親の問題にいったわけです。

それまでの日本の母親の問題は、母親コンプレックスとか、母親のマゾヒスティックな傾向だとか、言ってみれば精神分析的な用語で論じられていたのですが、そうではなくて文化の問題ではないかと思いはじめたのです。日本人全体がアブノーマルだということはあ

# イアスを考える

りえない。母親の観念というのはそうではなく文化の問題ではないかということになったんですね。

**深谷** 究極的にわれわれが持っている母親のコンセプトというのは、「救い」であるという理論がありますが、それでよろしいでしょうか。

**山村** 精神的な支えとか救い、つまり日本人の生き方の中に、母親というのが非常に力を持っているということだと思います。もっともジェンダーの問題が出てきてから、それは男性についてそうであっても、女性は少し違うのではないかという批判をされたことはありますが……。

**深谷** 例えば、個々のお母さんが全て菩薩であるわけではないのですが、菩薩的なものをわれわれが共有していたというふうに捉えたわけですか。

**山村** そうです。つまり、それが社会の中に文化としてある。世の中の人々のイメージとして、そういったものをたくさん持っている人も、かなり否定的な人もいますが、文化としてあるということなのです。

## 文化で違う「母親」の捉え方

**深谷** 具体例として、『日本人と母』の中で少年鑑別所の内観法のデータが紹介されていますね。

**山村** J.I.Kitsuseさんという人がフルブラ

イト交換教授として日本に来ていて、私は大学院生の頃から、母親のインタビューをしたりしてお手伝いしていました。そのとき内観法の話をしたのです。

**深谷** 内観法というのは、あの本によると、非行に走ったお子さんたちの治療法ですね。座っている場所には屏風かなんかあるのですか。白い障子みたいなものですか。

**山村** 要するに小さい部屋であればいいんです。独房みたいな、囲われた小さな部屋、つまり注意があちこち向かないようなところで1週間くらいかけて集中的に考えさせるのです。これは刑務所でもやります。

**深谷** 特に何の治療もしないで、ただそこに座っているわけですか。

## 山村賢明（やまむら・よしあき）氏 プロフィール

1933年生まれ。1963年、東京教育大学大学院博士課程修了（教育社会学専攻）。現在、立教大学文学部教授、日本教育社会学会理事。

主な著書に、『現代社会と子ども』共編著（東洋館出版社）、T・パーソンズ他『核家族と子どもの社会化』共訳（黎明書房）等がある。



山村賢明氏



山村 その方法は後に内観学会という国際的な学会にまで発展したんです。しかし相当発展はしてはいるんですが、基本的には文化の問題なんです。思い出せば自分は、あんなにやさしかったおふくろを今までわかっていなかったと解釈する。いかに自分が罪深いか、間違っていたかに思い至るというわけですから、解釈・意味づけの問題なんです。それが文化としてある。もっともそれは日本の中から出てきたものですから、日本の中では強いのですが、外国ではそのまま通用しない部分があると思うのですが、内観学会は現在は外国の研究者も多いですし、国際的に通用する格好になっています。

どこの社会でも親は子どもを育てるし、子どもは親に育てられるというのは事実ですから、その意味では解釈だけではない。かつて内観法の創始者の吉本伊信さんなんかと議論して、絶対日本的なもので、外国ではとても通用しないと言っていたんですが、どうやら外国でも通用する部分というのはあるわけですね。

深谷 といいますと、『日本人と母』というタイトルには、「日本人」というのはなくてもいいわけですか。

山村 そんなことはありません。ああいう発想や着眼があり、心理療法としてのオリジナリティーが土着で出てくるというのは、やはり文化というものが確かにあったということではないでしょうか。

深谷 その後、外国には何度も行かれています。

と思いますが、『日本人と母』的な母子関係というのは、アメリカなどではどう捉えられているのでしょうか。

山村 日本のように文化として、そういうものが社会的にかなり明確な形で、しかも歴史的に積み重ねるという形であるということはないと思うのですが、親子関係というのは親が苦勞するのであって、そのお陰で子が育つという事実があるわけです。全く無関係ではないと思いますが、個人の育ち方とか、あるいは経験のタイプとかでピッタリくる人とそうでない人といえると思います。基本的に文化としては、やはり違うのではないかという気がします。

深谷 日本人の場合、文化というのはやはり儒教につながるのでしょうか。

山村 日本の文化は外来文化を取り入れることによって形成されてきました。近・現代は西洋文化とおさえれば、その1つ下には徳川期に力を持った儒教文化、その前には古代からの仏教文化、その仏教が入ってくる前には神道的な世界があって、層を成しているわけです。それが一番古層であって、そこにいろんな層が積み重なってきているわけですから、母親の問題を考えるのはユング的に歴史を飛ばして考えることは私にはできないんですが、少なくとも室町以降はそういう文化はあるのではないかという気はします。しかし私は、歴史は弱い方なのでなんともいえません。

深谷 おっしゃるように、儒教の中からは、「救い手としての母」というのはないでしょうね。

山村 むしろ父親とか、主君とか、もっといけば天ということになるのかもしれませんが、男系ですよ。

深谷 そうですね。

山村 ですからそこに女性が出てくるのは、いってみれば、神道までいくと、柳田国男の世界といいますか…。

深谷 儒教でしたら、天と地か、陰と陽かは知りませんが、女性がそんなに大きなウエイトを持っていませんね。仏教の場合はどうな

んでしょうか。

**山村** もともとインドでは母親の存在は大きいですし、仏教の教典などを拾っていけば、東洋文化と母親は切り離せない、そういうような考えは鈴木大拙さんなど仏教関係の人からはできますよね。

**深谷** そうしますと、山村さんがおさえられた昭和30年代くらいまでの母親像にしても、かなり日本の歴史の中でつくられてきたという感じになるわけですね。

**山村** 特に、私のように歴史をやらない人間の仮説なんですけど、近世儒教的な、また武士的な男性文化というものの裏側にあった母親文化が、敗戦後、男性支配というものがなくなってきたので前面に強く出てきた。戦争中は母の力というものは国策的に使われましたから、戦中・戦後から最近に至るまで、前面に大っぴらにでてきたのではないのでしょうか。

## 女性優位社会の到来

**深谷** 『日本人と母』をお書きになって30年くらいになるとと思いますが、その後、母親像はどう変わってきたと思いますか。

**山村** その後、その問題はやっていないんです。ですから最近どうであるとか、特に資料的につかまえたということはないのですが、文化的枠組みとしては変わっていないのではないかと思います。しかし、それをとりまく状況というものは非常に大きく変わったのではないのでしょうか。どういう面で変わったかという、いわゆるフェミニズム、女性解放的な動きが社会に出てきました。職業を中心とした社会の仕組みというものは男性本位にできているけれども、それでも「男女雇用機会均等法」などで変わりつつあります。要するに女性蔑視という考え方はなくなってきていますよね。ですから、特にマスメディアを中心に母親の描き方、女性一般の描き方が変わってきました。今までは男性優位の社会の中で母親は苦勞して、男性の裏側にいるような、男性を支えているような格好でそういう



深谷昌志氏

母親のあり方が、妻のあり方、女性のあり方の原型としてあったと思いますが、その構図はなくなりつつあるのではないのでしょうか。しかし、母の文化という伝統があるものですから、それは変わらない。母の大きな力や意味が攻撃されるということはないんです。ですから、母親そのものはかつてと似たような格好をとっているけれども、ジェンダーの現実の問題としてみると非常に大きな違いが今起こりつつあると思います。

例えば家庭というものを考えてみると、基本的には母親の役割というものを家族、学校をとおして学んでいくわけですから、そういう家族の中でいえば、母親はある意味ではますます大きな存在になっていくわけですね。これはよくいわれることですが、学校へ行っても女の先生がいますし、マスメディアの中でも、今は女性優位だといってもいいと思います。そういう中で、男の子はそういう女性がリードするような、または優位に立つような関係の中で、女性の指示を受けて育つ。ところが女の子の方は母親に同一化して自分を女性として定位しますから、男の子に対して優位な立場に立つことになります。

マスメディアが非常に大きく変わってきていて、従来はドラマであれ、流行歌であれ、だいたい女性は弱くて被害者であって、泣く立場というふうな描き方がなされてきたのですが、今は全く違う。むしろ、若い男女の性的な関係でも決定権は女性が持つ。男の方はいかに女性の機嫌をとり気に入られるかとい

うように、昔の男女関係が逆転しています。マスメディアがすごいと思うのは、いろいろなドラマを見ていても、例えば女性が加害者として男性を殺してしまう。そのように、かつてはいわゆる男性性だったものを女性がする。しかも、女性の弁護士とか、検事が善悪を裁断したり決定したり、そういうドラマの方が多し。新聞を見てもそうです。そういうムードというのは、非常に大きな変化だと思います。しかも日本人は、ムードに弱いのです。

### 強くなる女性、弱くなる男性

深谷 つまり今までは、女性が実質的に男性を動かしていたかもしれないけれども、陰に隠れていた力が現在では表面に出てきているというお考えですね。

山村 ですからジェンダー・バイアスという言葉も、女性が不利だという形だけで問題にするのは公平さを欠くと思う。むしろ男性がだめになってしまう、だらしがない、弱いなどという面もジェンダー・バイアスと同時に問題として考えていく時代ではないかと思うんです。

今、一番元気なのは中年の女性たちですが、もう一つ元気なのは女生徒・女子学生です。どこの大学でも、特に文科系ですと女子学生が多く、しかも元気がいい。競争をくぐってきて男子学生はかなり弱っていますが、女子学生は世の中をのびのびと明るく見えていますし元気です。ですから、男女平等なんか当たり前と思っています。ところが就職するとき、また就職してから、社会の仕組みとしての男女差を経験して愕然とするわけです。

深谷 山村さんはパーソンズの『家族』<sup>(注)</sup>の実際の中核的な翻訳者でもあり、インストルメンタル・エクスプレッシブ (instrumental expressive) という有名な概念を日本に紹介なさったわけですが、山村さんのおっしゃっていた日本人の母というのと、エクスプレッシブというのはどう違うのでしょうか。

山村 パーソンズの理論の非常に優れているところは、あちこちボロボロぬけたところがなく、体系的に分析概念をつくりあげていく点です。その中でインストルメンタル・エクスプレッシブという概念がでてきているわけですが、そのレベルで母親なり女性なりがエクスプレッシブの役割を演じるということは、家事をする、家庭の中の雰囲気をよくするとか、子どもや夫を元気づけてやるという、このレベルです。

そこでは日本人の母親もアメリカの母親もそんなに変わらないと捉えられると思います。しかし、それを超えた意味づけみたいなのまでいくと、文化が出てきます。そこで違いが出てまいります。

深谷 先ほどおっしゃった、特に今の問題でいえば、女性たちがバイアスがかかっている力が発揮していなかった人たちが自信を持ってきたということと、もともと力があったということになると、今の元気ある学生や中年の人たちをつかまえていくときにはエクスプレッシブだけではないのですか。

山村 職業社会の中に女性が進出していくとか、ボランティア活動の中で能力を発揮するといいますが、インストルメンタルなものが入ってきますからね。今まではそういう面から遠ざけられていたのですが、そこにも入っていきますので、女性もインストルメンタルな側面も持つようになる。それが元気とか、地位の向上の証でもあると思うんです。

そこで難しい問題が起こってくるのですが、インストルメンタル・エクスプレッシブというのはかなり重要な人間の資質であり、役割でもあるし、文化でもあるんですが、それが今までは男性、女性というように固定していたわけです。しかし固定しないで、女性にもインストルメンタルな面、男性にもエクスプレッシブな面というふうにみななければならなくなった。またみるべきだというふうになったということではないでしょうか。ですからインストルメンタル・エクスプレッシブという概念そのものがダメになったのではなくて、





適用の仕方を変えていく必要があると思います。

### 大切なのは人間的資質の形成

深谷 ところで、河合準雄さんの「切る」と「包む」と、インストルメンタル・エクスペリシブは、山村さんがご覧になってほとんど同じ概念でしょうか、それとも違うのでしょうか。

山村 かなり似ていると思います。私はどうもユングが苦手な河合さんを通してくらいしか知らないんですが、似ていますね。ただユングの問題点はそれがやはり女性・男性というふうに割り振られている。今はフェミニズムの方からフロイトの理論が男根主義といって批判されますが、ユングの理論だって、そういう意味でいえば当然批判の対象になるのではないのでしょうか。つまり、切断したり包容したりというような、そういう機能ですよ。機能そのものは人間にとって必要ですからいいのですが、それが女性性だというのは固定した女性観だと思います。それはパーソンの場合も同じであって、ではエクスペ

リシブや包容は必要ないかというそうではなく、男であれ女であれ、人間の資質としてそれは必要とされる。今までは、男が、女がというような分担意識でやってきましたが、そうではない格好で、両方が人間的資質として形成されなくてはいけないということではないかと思うのです。

深谷 それがそもそもジェンダー・フリーという考え方に近いのですか。

山村 今まではお母さんがエクスペリシブで、お父さんがインストルメンタルだった。それはそれでよかったから子どもは社会化・発達の中でそれを父親・母親を通して身につけられたけれども、それがジェンダー・フリー、セックス・フリーといいますが、そうなったときに、どう身につけられるのか。つまりユニセックスという格好になってしまうと、それがあいまい化されてしまう。両面が形成されていてユニセックス、モノセックス的であるならばいいけれども、それがどこかにいってしまっているならば、それは問題です。つまり現代においては、父親、母親がどういう形で性役割を固定することなく、この2つの資質を子どもに身につけさせることが

できるのだろうかという問題があると思います。

深谷 それはつまり、今のジェンダー論の一番困っているところですよ。批判をして壊したところまではいったけれども、そのあと何をつくっていったらいいのかという……。

山村 親たちはかつて古いタイプで形成されていて、その上で自己解放しているからいいけれども、これが白紙の子どもたちにどう伝えられるかとなると難しいのです。ある場面では母親が非常にインストルメンタルであり、ある場面では父親が非常にエクスペッシブであればいいのではないかと思います。本当にそんなに簡単にいくのか。子どもの社会化形成のプロセスから考えても、そんなに簡単ではないと思うのです。父子関係や母子関係がのっぺりとして、特色がなくなってしまうからです。

深谷 ベティ・フリーダンの『セカンド・ステージ』がそれですね。結局問題は投げかけたけれども、決して社会全体も、女性自身も幸せにならなかったというところまでは出てきましたが、その後は出てきませんね。

山村 その後は、いわゆるポスト・モダン・フェミニズムといわれますが、女性性の持っているプラスの側面を認めていこうというふうになりつつあるようですね。そうするとまた母親の問題が出てきて、またちょっとこれから違った展開があるかもしれないという気がします。特に日本社会の場合、母の文化はどう捉え直されるのでしょうか。

深谷 今のお話をうかがっていると、これからは父親論の方が大事になるという感じですか。

山村 今までは女性のバイアスをいかに取り除くかということでした。女性の方は社会的な正義の問題として放っておいても非常にわかりやすい問題ですが、しかし、これから女性をめぐる文化が変わってくる中で、男性をどうするかということとを並行して考えていかなくはないのではないかと思います。今、男は定年後に至るまで、ずっと元

気がないのではないのでしょうか。

深谷 本日は貴重なお話をうかがわせていただきました。ありがとうございました。

#### 〔対談を終えて〕

同窓の先輩なのでフランクに聞き取りができた。もっとも、そのために研究者相互の対談という感じで、少しわかりにくい内容になってしまったかもしれない。しかし、日本人と母親を考える際の大きな問題を、掘り下げることができたと考えている。

(注) instrumental (手段性手段的役割) とは、個人や集団が環境の中で生活していくうえで必要な資源を調達したり、決定を下す力を、また expressive (表出性表出的役割) とは緊張を緩和させたり、なぐさめたりという集団内の人間関係を維持する働きを意味する。この2つの面は社会的に必要な資質であるが、パーソンズたちは前者を男性的、後者を女性的な役割として割り振り、フェミニズムによって批判された。



## 文献紹介

## 『日本人と母』

—文化としての母の観念についての研究—』

山村賢明著『日本人と母—文化としての母の観念についての研究—』（東洋館出版社）から「第4章 総括と展望 2 日本の母の意味」（P. 216～222）を抜粋しました。

日本の母のもつ宗教的意味合いは、このような母の普遍主義化を背景として深められるが、さらに《支えとしての母》の究極的形態とみなされた《救いとしての母》の観念には、それが最も端的に現われている。

人は生活上の諸目標を追求してゆく途上において、必ずや挫折を経験し、打解困難な事態に遭遇し、癒しがたい不幸にみまわれる。それは子どもの社会化の過程において、欲求挫折 frustration が不可避的であるのと同様に確かなことである。それらに対処し、それらを乗り越える方法として、どんなことが考えられるであろうか。それは心理学的には、防衛機制 defense mechanism といわれるものであるが、ここで問題にしているのは、社会的状況において、文化的に価値づけられるような具体的手だてである。酒や女にまぎらわせるか、特定の思想的原理に恃むか、それとも神の救済を求めるか。

それらをかりに世俗的方法と、宗教的方法

とに分けるとするなら、《支えとしての母》《救いとしての母》は一応前者のなかに位置づけることができよう。しかし挫折の事態への対処の要請が、本来機械ではない人間の弱さに由来するものである限り、その方法は究極的に非経験的 non-empirical な非理性的なものにならざるをえない。そうだとすると、世俗的方法といえども、根底において宗教的方法につながってこざるをえないのである。

一般に社会機能論からいって、宗教が社会にとって不可欠のものであるというのは「制度としての宗教」なのではなく、宗教こそが典型的に遂行するところの機能に関してである。その機能とは、道徳的価値の基礎にあり、社会に統合をもたらすような究極的価値の提示と、経験的にも道徳的にも制御しえないような究極的挫折の適切な解釈である。とくに後者は、前者を支えることによって、社会生活の存続を可能にするという意味において重要である。挫折ないしはそこからくる疎外感

が人間生活の一般的属性であるとすれば、それによつて「救済」salvationの方法を提供するところに宗教の本質があるといえよう。「聖なるもの」sacréはそれが象徴化されたものである。宗教のもう一つの要素としての儀式的表現の側面を取去って、宗教をこのように広義に解するとき、現存のいかなる社会も、宗教を清算してしまいうるほど完全に世俗化されてはいないのである。

宗教をこのように考えるなら、世俗的方法と宗教的方法という区別はあまり意味をもたなくなる。むしろ、「救済」の機能を営むものは、多かれ少なかれ宗教的性格をおびるというべきである。

[補注] 世俗的な方法としての酒や女も、思想的原理も同様であるが、ただ、このうちの後者は前二者に比べて内的一貫性と認識的広がりをもつという違いをもつだけである。後者のなかで最も総合的であり、かつ科学性を主張して、人を行動にかりたてるうえに大きな力をもっているのはマルクス主義であろう。しかしマルクス主義といえども、客観的イデオロギー体系とは識別されるべき何らかの救済観念を含んでいる。とくに弾圧を伴う実践運動においてはそうである。それは資本主義体制の変革という究極価値を提示するが、この運動の過程でさまざまな挫折の事態に直面した個々人においては、歴史発展の方向性にうらづけられたものとしての人民の解放・幸福という「神話」へのコミットメントが精神的支えとなる。そういう意味において、マルクス主義からも、一定の宗教性をめぐいさるこ

とはできないといえよう。

しかし、この救済の機能を最も集約的に保持するのが、制度として確立された宗教、とくにウエーバーのいう「世界宗教」であることはいうまでもない。なかんづく西欧世界において計りしれない力をもっていたのは、万物の創造主としての唯一絶対の神への信仰を説くキリスト教であった。すべての究極的価値と救済が唯一神 God によって提示されるところに、西欧における合理主義的・「普遍主義」的文化的発達の契機があったとさえいわれる。

[補注] なぜなら、唯一神の原理が、その被創造物としてのこの世界を支配しているという観念は、「自然」的世界における客観的秩序ないし法則性の存在を想定させるからである。この意識こそが、近代科学の根本的仮説となっているのである。その法則性の実証は、創造主としての神の力のアプリシエーションになるのであり、プロテスタンティズムにおける世俗的活動の強調がこれに加わったとき、人間はその自然的秩序の積極的探求に向かって動機づけられたのである。従って科学の発達史において、キリスト教はそれを抑制し、推進するという、二つの逆説的役割を演じつつも、終局的に後者が優越したというべきであろう。

この普遍主義的文化的基礎としてのキリスト教にたいして、汎神論的 pantheistic な風土をもつ日本においては、この世界が唯一神の原理によって支配されているという観念

を欠いたがゆえに、まさにさまざまな神々 gods が救済の機能を演じたのである。その信仰は唯一神ではなく、さまざまな生活上の必要や願望に対応したいわゆる機能神 functional gods にたいするものであり、そこには神と世俗の間の緊張関係は弱く、それは当然個別主義的・世俗主義的文化の優越と結びつくものである。宗教それ自体が、はなはだ人間化されたものであったといってもよい。16世紀の中葉に日本にキリスト教がもたらされたとき、宣教師たちを最も困惑させたのは、日本人が万物の創造主とその原理としての事物の究極の原因や目的を認めず、つまるところ人間としか考えられないような被造物を、「神仏」として崇拝していたことであった。

中村元によると、日本では古来から、すべて空間的階位的に上に位置しているものを「カミ」といい、人間と区別された神の観念ははっきりと成立してはいなかったのである。そして中村は、キリスト教以前に渡来していた仏教や儒教が、その受容の過程においてかたに日本化されたかを吟味して、人倫重視的傾向、非論理性、現世主義などをあげているのである。

われわれが母のコンセプションズに宗教的な意味合い connotation を読みとろうとするのも、このような日本の潜在的文化との関係においてであるが、そこにおいて、母が最後のよりどころとなり、救済の機能を演じるのはそう不自然なことではない。この点からとくに《救いとしての母》の観念に関連して、興味をひくのは、「観音信仰」の問題であろう。

観音、正しくは観世音菩薩の信仰の歴史は古い。それは中国においては、後漢の末期に

はすでに一般的になっていたといわれるが、日本では仏教が伝来してまもなく、すでに女帝推古天皇の時代には、非常な勢いで民間にも浸潤したといわれている。平安朝においても隆盛をきわめ、その後、浄土宗、真宗の勃興とともにその勢は削がれたが、それでも観音は、後に日本で最大の信徒を擁するようになったこれらの宗派の本尊、つまり阿弥陀の左脇侍として、相変わらず民衆の信仰をあつめた。そして江戸時代には、四国33所、坂東33所、秩父34所などの霊場巡礼の風習として栄えた。

観音信仰は仏教の各宗派を越えた性格をもっており、地藏信仰と並んで長い期間にわたって日本人の心をとらえてきた。それは仏教美術のなかでも重要な位置をしめ、今日残存する著名な仏像のなかでも、観音像の数が最も多いともいわれる。最後には霊場廻りや観音講にみられるように、「民間信仰」としての色彩を強め、娯楽的機能をもはたすようになったのであるが、それだけ民衆化したということでもある。観音が何故そのような信仰の対象となりえたかは、宗教学者の研究をまたねばならないが、その重要な理由は、その菩薩としての特質と無関係ではないと考えられる。観音は大慈・大悲をもって苦悩を除き、忍辱・柔和の相をおび、その名を唱える世人の音声を観じて解説をえしめる菩薩であり、そのことのためには33種にも姿を変えてこの世に現われるといわれる。それはまさに挫折にたいする救済という宗教的機能の化身なのである。われわれにとって興味があるというのは、とくにそのような観音が、女性、なかんずく母に関連せしめられることが多い



ということである。

例えば、「悲母観音」は狩野芳崖のあの著名な絵画に表現されているし、隠れキリシタンにおける「マリア観音」も然りである。日本のキリシタンには、そもそも多神教的な色彩が濃かったのであるが、そのなかでも、子どもであるキリストを抱いた聖母マリアの崇拜が特徴的であった。彼らの納戸神にはマリアの聖画像が多く、中国から渡来した白磁または青磁の悲母観音や魚籃観音の像を、サンタ・マリアに擬して祀ったのである。いかに中世カトリックの渡来によるとはいえ、この独特の Marianism は父なる神の信仰を中核とするキリスト教からみれば、大きな逸脱といわなくてはならない。マリア観音のような信仰形態は、一般には、キリスト教禁制に対抗するための方便と解されているようである。もちろんそういう契機を否定することはできないであろう。しかしそれなら、とくに観音像でなくてはならないという必然性はない。最近東京の青梅市には、「へその緒観音」が建立されて一部の話題になったし、また観光地などにもよく観音像が建てられる。このようなことを考え合わせると、マリア観音には、そのような単なる消極的意味を越えた何かがあるように思える。

われわれの分析したデータにおいても、母を観音に関連づける言及が出てきている。『母を語る』のなかで玉川勝太郎は自分の母を慈母観音にたとえていたし、吉川英治の場合にもみられた。吉川英治の母は、道楽で家を破産させ、長いこと病床にあった夫から、

「今朝ばかりは、お前の姿が観音さまにみえた」といわれる。その一言で彼女は、今までの苦勞が報いられたとして、夫を恕すのである。

観音のとり33種の相の中には、すでに女性も含まれているのであるが、このようにみえてくると、観音の菩薩としての特質は女性のステイタス・セットのうちでもとくに、自我をすてて子や夫のためにつくし、苦しみにたえ、子の支えとなり、限りなく許すことによって子の最後のよりどころになる母のイメージと重なり合うのである。ほとんど母は観音なのであり、観音は母なのである。この両者の同一化 identification は、日本の母のコンセプションズ、とりわけ《救いとしての母》の観念が、深いところで宗教的なものと融合しているという印象を強めるものである。

[補注] さらに卑俗なことでは、観音は女陰をあらわす隠語でもある。これは江戸時代から使われだした言葉だといわれるが、今日なお“観音さまをおかむ”などというような表現で通用しているものである。女性→女陰→観音→母というシンボリズムの連鎖をたぐると、日本の男の女性にたいする関わり方がうかがえるように思える。そしてまた、さまざまな講組織のなかで、とくに中世において著しく発達した観音講が、子安講とならんで女性によって構成される講であるということには、女性自身による観音的機能の受容と同一化がみられるといえよう。

## ちょうさのおねがい

これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

### ● やりかたの練習 ●

あなたはカレーライスがすきですか？

とても すき	かなり すき	ふつう	すこし きらい	とても きらい
1	②	3	4	5

あなたがもしカレーライスを「かなりすき」だと思ったら上のように番号のところを○でかこんでください。

① まず、あなたやあなたの家族について教えてください。

1) 学校の名前…… ( ) 小学校 (5) 年生

2) 男・女…… (1. 男 2. 女) <○でかこむ>

3) たんにんの先生は女の先生ですか、それとも男の先生ですか。

(1. 女 2. 男) <○でかこむ>

4) だれといっしょに住んでいますか。いっしょに住んでいる人全部に○をつけてください。

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. お母さん  | 2. お父さん | 3. おばあさん |
| 4. おじいさん | 5. お姉さん | 6. お兄さん  |
| 7. 妹     | 8. 弟    | 9. その他の人 |

5) お母さんはどんな仕事をしていますか。

1. 朝から夕方までおつとめをしている
2. たいてい家にいて家族の世話をしている
3. パートで仕事をしている
4. 家でお店や工場をやっている
5. お母さんはいない
6. その他

6) お父さんはどんな仕事をしていますか。

1. 会社や学校、役所につとめている
2. 家でお店や工場をやっている
3. 農業、漁業、林業をやっている
4. お父さんはいない
5. その他

I. 学校でのようすをききます。

② あなたは、つぎのようなことをよくしますか。

	いつも する	ときどき する	あまり しない	ほとんど しない
1. 授業中、手をあげて自分の意見を言う……………	1	2	3	4
2. 給食のおかずをくばる……………	1	2	3	4
3. そうじをきちんとする……………	1	2	3	4
4. 休み時間に校庭で元気に遊ぶ……………	1	2	3	4
5. 友だちとおしゃべりをする……………	1	2	3	4
6. 花に水をやる……………	1	2	3	4
7. 動物の世話をする……………	1	2	3	4
8. 運動会の応援団 <small>をうけとる</small> をする……………	1	2	3	4
9. いじめられている友だちをかばってあげる……………	1	2	3	4
10. 友だちといっしょにトイレに行く……………	1	2	3	4



## ③ あなたは、つぎの科目がどのくらい好きですか。

	とても 好き	すこし 好き	すこし きらい	とても きらい
1. 国語	1	2	3	4
2. 算数	1	2	3	4
3. 理科	1	2	3	4
4. 社会	1	2	3	4
5. 音楽	1	2	3	4
6. 体育	1	2	3	4
7. 図工	1	2	3	4
8. 家庭科	1	2	3	4

## ④ あなたは、つぎの係や委員がどのくらい好きですか。

	とても 好き	すこし 好き	すこし きらい	とても きらい
1. 学級委員	1	2	3	4
2. 給食係	1	2	3	4
3. 保健係	1	2	3	4
4. 飼育係 <small>しいぐ</small>	1	2	3	4
5. 新聞係	1	2	3	4
6. 図書係	1	2	3	4
7. 清掃係	1	2	3	4

## ⑤ あなたは、つぎの遊びをしたことがありますか。

	たくさん ある	すこし ある	ほとんど ない	ぜんぜん ない
1. コマまわし	1	2	3	4
2. かくれんぼ	1	2	3	4
3. ブランコ	1	2	3	4
4. おり紙	1	2	3	4
5. かんけり	1	2	3	4

● 資料 1 調査票見本

	たくさん ある	すこし ある	ほとんど ない	ぜんぜん ない
6. たこあげ……………	1	2	3	4
7. けん玉……………	1	2	3	4
8. あやとり……………	1	2	3	4
9. 木登り……………	1	2	3	4
10. スケートボード……………	1	2	3	4
11. お手玉……………	1	2	3	4
12. ビー玉……………	1	2	3	4
13. 石けり……………	1	2	3	4
14. すもう……………	1	2	3	4
15. ゴムとび……………	1	2	3	4
16. なわとび……………	1	2	3	4
17. ままごと……………	1	2	3	4
18. マンガをかく……………	1	2	3	4
19. おにごっこ……………	1	2	3	4
20. サッカー……………	1	2	3	4
21. 野球……………	1	2	3	4
22. ファミコン (テレビゲーム) ……	1	2	3	4
23. トランプ……………	1	2	3	4

⑥ 女子にききます。(男子はとばしてください)

学校の先生から、つぎのようなことを言われたことがありますか。

	たくさん 言われる	ときどき 言われる	ほとんど 言われない	ぜんぜん 言われない
1. 女の子は、らんぼうなことばを 使ってはいけません……………	1	2	3	4
2. 女の子らしく、ぎょうぎよくし なさい……………	1	2	3	4
3. 女の子なのだから、身のまわり をきちんとしなさい……………	1	2	3	4

## ⑦ 男子にききます。(女子はとばしてください)

学校の先生から、つぎのようなことを言われたことがありますか。

- |                              | たくさん<br>言われる | ときどき<br>言われる | ほとんど<br>言われない | ぜんぜん<br>言われない |
|------------------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 男の子だったら、もっとしっかりしなさい……………  | 1            | 2            | 3             | 4             |
| 2. 男の子は、ないてはいけません…           | 1            | 2            | 3             | 4             |
| 3. 男の子が女の子に負けるようではいけません…………… | 1            | 2            | 3             | 4             |

## ⑧ 学校で、女子と男子をさべつされて「くやしい」と思ったことはありますか。

- | たくさんある | ときどきある | あまりない | ぜんぜんない |
|--------|--------|-------|--------|
| 1      | 2      | 3     | 4      |

## ⑨ つぎのようなことがもしあったら、やってみたいですか、それともあまりやりたくないですか。

- |                                  | とても<br>やってみたい | すこし<br>やってみたい | あまり<br>やりたくない | ぜったい<br>やりたくない |
|----------------------------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 集会のとき、男女いっしょに身長の順にならぶ……………    | 1             | 2             | 3             | 4              |
| 2. 出席簿の順番を男女いっしょに<br>してもらおう…………… | 1             | 2             | 3             | 4              |
| 3. 男女いっしょに、サッカーや野<br>球をする……………   | 1             | 2             | 3             | 4              |
| 4. 運動会で、男女いっしょにきば<br>戦をする……………   | 1             | 2             | 3             | 4              |
| 5. 運動会の徒競走で、男女いっし<br>よの組で走る…………… | 1             | 2             | 3             | 4              |



II. 家でのことをききます。

10 あなたは家の手つだいをどのくらいしていますか。

	いつも する	ときどき する	あまり しない	ぜんぜん しない
1. 食事のしたく……………	1	2	3	4
2. 食事の後かたづけ……………	1	2	3	4
3. そうじをする……………	1	2	3	4
4. 近所におつかいに行く……………	1	2	3	4
5. せんたくものをほす……………	1	2	3	4
6. せんたくものをとりこんで、た たむ……………	1	2	3	4
7. ゴミを出す……………	1	2	3	4

11 つぎのことは、お母さんとお父さんのどちらがたくさんしますか。  
(お母さんとお父さんのいない人はとばしてください)

	いつも お母さん	たいてい お母さん	だいたい 同じくらい	たいてい お父さん	いつも お父さん
1. 朝ごはんの用意をする……………	1	2	3	4	5
2. 夕ごはんの用意をする……………	1	2	3	4	5
3. 食事の後かたづけをする……………	1	2	3	4	5
4. そうじをする……………	1	2	3	4	5
5. せんたくをする……………	1	2	3	4	5
6. ゴミを出す……………	1	2	3	4	5
7. 勉強や宿題をみてる……………	1	2	3	4	5
8. 子どもと遊んでくれる……………	1	2	3	4	5
9. 休みの日に、いっしょに出かけ る……………	1	2	3	4	5
10. 悪いことをしたときに、しかる…	1	2	3	4	5

12 あなたは家族の人から、つぎのようなことを言われますか。

1) (女子だけ答えてください)

- |                                     | たくさん<br>言われる | ときどき<br>言われる | ほとんど<br>言われない | ぜんぜん<br>言われない |
|-------------------------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 女の子は、らんぼうなことばを<br>使ってはいけません…………… | 1            | 2            | 3             | 4             |
| 2. 女の子らしく、ぎょうぎよくし<br>なさい……………       | 1            | 2            | 3             | 4             |
| 3. 女の子なのだから、身のまわり<br>をきちんとしなさい…………… | 1            | 2            | 3             | 4             |

2) (男子だけ答えてください)

- |                                  | たくさん<br>言われる | ときどき<br>言われる | ほとんど<br>言われない | ぜんぜん<br>言われない |
|----------------------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 男の子だったら、もっとしっか<br>りしなさい……………  | 1            | 2            | 3             | 4             |
| 2. 男の子は、ないてはいけません…               | 1            | 2            | 3             | 4             |
| 3. 男の子が女の子に負けるよう<br>ではいけません…………… | 1            | 2            | 3             | 4             |

13 あなたは「女の方は家の中の仕事や家族の世話が大切だから、あまり外で仕事をしない方がよい」という意見にさんせいですか。

- | とても<br>さんせい | すこし<br>さんせい | すこし<br>反対 | ぜったい<br>反対 |
|-------------|-------------|-----------|------------|
| 1           | 2           | 3         | 4          |

14 あなたは「男の方は仕事大切だから、家の中の仕事や家族の世話はあまりしない方がよい」という意見にさんせいですか。

- | とても<br>さんせい | すこし<br>さんせい | すこし<br>反対 | ぜったい<br>反対 |
|-------------|-------------|-----------|------------|
| 1           | 2           | 3         | 4          |

Ⅲ. あなたのことにききます。

15 しょう来、学校はどこまで行きたいですか。

- | 中学校 | 高校 | せんもん学校 | 短大 | 4年制の大学 | 大学院 |
|-----|----|--------|----|--------|-----|
| 1   | 2  | 3      | 4  | 5      | 6   |

16 おとなになったら、つぎのような仕事をしてみたいですか。

	とても やってみたい	すこし やってみたい	あまり やりたくない	ぜったい やりたくない
1. 警察官 <small>(はいさつ官)</small> (婦警 <small>ふけい</small> さんもふくむ) ……	1	2	3	4
2. コックさん・板前さん……………	1	2	3	4
3. 総理大臣……………	1	2	3	4
4. 飛行機のパイロット……………	1	2	3	4
5. 宇宙飛行士……………	1	2	3	4
6. スチュワーデス・スチュワード…	1	2	3	4
7. お医者さん……………	1	2	3	4
8. 幼稚園や保育園の先生……………	1	2	3	4
9. 小学校の先生……………	1	2	3	4
10. バスの運転手……………	1	2	3	4
11. 看護婦さん・看護士さん……………	1	2	3	4
12. お花屋さん……………	1	2	3	4
13. ケーキ屋さん……………	1	2	3	4
14. スポーツ選手……………	1	2	3	4
15. 動物園 <small>(どうぶつ園)</small> の飼育係……………	1	2	3	4
16. タレント……………	1	2	3	4
17. マンガ家……………	1	2	3	4

17 つぎの仕事の人が100人いたら、女の人は何人くらいいると思いますか。

[ ]の中に数字を書いてください。

1. 警察官100人のうち、女の人は[ ]人
2. コックさん100人のうち、女の人は[ ]人
3. お医者さん100人のうち、女の人は[ ]人
4. 小学校の先生100人のうち、女の人は[ ]人
5. バスの運転手100人のうち、女の人は[ ]人
6. スポーツ選手100人のうち、女の人は[ ]人
7. 動物園(どうぶつ園)の飼育係100人のうち、女の人は[ ]人

## 18 あなたはしょう来、どんな人になりたいですか。

- |                              | とても<br>なりたい | すこし<br>なりたい | あまり<br>なりたくない | ぜんぜん<br>なりたくない |
|------------------------------|-------------|-------------|---------------|----------------|
| 1. お金をたくさんもうけて、お金持ちになる……………  | 1           | 2           | 3             | 4              |
| 2. 世の中のこまっている人たちを助けてあげる…………… | 1           | 2           | 3             | 4              |
| 3. えらくなって、有名になる……………         | 1           | 2           | 3             | 4              |
| 4. 仕事をバリバリする……………            | 1           | 2           | 3             | 4              |
| 5. 自分の子どもを大切に育てる……………        | 1           | 2           | 3             | 4              |

## 19 あなたはどんな子ですか。

- |                             | とても<br>そう | すこし<br>そう | すこし<br>ちがう | ぜんぜん<br>ちがう |
|-----------------------------|-----------|-----------|------------|-------------|
| 1. たくましい……………               | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 2. やさしい……………                | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 3. 思いやりがある……………             | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 4. がんばりや……………               | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 5. かわいい……………                | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 6. 頭がいい……………                | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 7. 強い……………                  | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 8. おしゃれ<br>(服のセンスがいい) …………… | 1         | 2         | 3          | 4           |
| 9. こまかいことによく気がつく……………       | 1         | 2         | 3          | 4           |

## 20 女子にききます。(男子はとばしてください)

1) 「女に生まれてソンした」と思ったことはありますか。

- | たくさん<br>ある | ときどき<br>ある | あまり<br>ない | ぜんぜん<br>ない |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1          | 2          | 3         | 4          |



2) では、反対に「女に生まれてよかった」と思ったことはありますか。



あると答えた人だけにききます。  
どういうときに、そう思いましたか。

21) 男子にききます。(女子はとばしてください)

1) 「男に生まれてソソした」と思ったことはありますか。



2) では、反対に「男に生まれてよかった」と思ったことはありますか。



あると答えた人だけにききます。  
どういうときに、そう思いましたか。

22) もしあなたが、もう一度生まれかわれるとしたら、男子に生まれたりですか、それとも女子に生まれたりですか。



～これで終わりです。長い間どうもありがとう。～

● 資料 2 基礎集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目	サンプル数	全体		性別	
		男性	女性	男性	女性
①	サンプリング数	3,200	1,612	1,588	
	別の担性	59.6	59.2	60.0	
	1. 女	40.4	40.8	40.0	
	2. 男	97.7	97.4	98.0	
	1. お母さん	94.2	93.9	94.5	
	2. お父さん	23.4	23.5	23.3	
	3. おばあさん	15.4	14.9	15.9	
	4. おじいさん	28.4	29.2	27.5	
	5. お姉さん	30.7	28.8	32.6	
6. お兄さん	28.1	29.7	26.4		
7. 妹	28.8	29.0	28.5		
8. 弟	3.7	3.2	4.2		
9. その他の人	25.8	27.4	24.2		
②	1. 朝から夕方までおつとめをしている	41.9	41.7	42.0	
	2. たいてい家について家族の世話をしている	15.3	13.7	16.8	
	3. パートで仕事をしている	5.3	5.4	5.2	
	4. 家でお店や工場をやっている	1.2	1.1	1.4	
	5. お母さんはいない	10.5	10.7	10.4	
	6. その他	67.4	65.7	69.1	
③	1. 会社や学校、役所につとめている	10.2	10.8	9.6	
	2. 家でお店や工場をやっている	1.8	2.1	1.5	
	3. 農業、漁業、林業をやっている	3.2	3.4	3.0	
	4. お父さんはいない	17.4	18.0	16.8	
	5. その他	18.8	23.4	14.3	
④	1. いつもする	40.4	41.7	38.9	
	2. ときどきする	25.7	23.2	28.2	
	3. あまりしない	15.1	11.7	18.6	
	4. ほとんどしない	18.0	16.0	20.0	
⑤	1. ときどきする	67.0	63.6	70.5	
	2. あまりしない	11.8	15.3	8.2	
	3. ほとんどしない	3.2	5.1	1.3	
	4. ほとんどしない				

質問項目	全体	性別		
		男性	女性	
①	1. いつもする	48.8	39.0	58.7
	2. ときどきする	40.2	44.1	36.3
	3. あまりしない	9.3	14.3	4.2
	4. ほとんどしない	1.7	2.6	0.8
②	1. いつもする	43.6	61.6	25.6
	2. ときどきする	34.6	26.0	43.3
	3. あまりしない	15.5	9.3	21.7
	4. ほとんどしない	6.3	3.1	9.4
③	1. いつもする	84.3	79.5	89.1
	2. ときどきする	12.0	15.8	8.1
	3. あまりしない	2.4	3.4	1.5
	4. ほとんどしない	1.3	1.3	1.3
④	1. いつもする	3.9	2.3	5.4
	2. ときどきする	16.3	13.0	19.7
	3. あまりしない	29.3	24.9	33.8
	4. ほとんどしない	50.5	59.8	41.1
⑤	1. いつもする	13.8	12.4	15.3
	2. ときどきする	20.4	18.1	22.7
	3. あまりしない	22.7	20.5	24.8
	4. ほとんどしない	43.1	49.0	37.2
⑥	1. いつもする	8.5	9.5	7.5
	2. ときどきする	11.7	11.1	12.3
	3. あまりしない	13.7	13.5	13.8
	4. ほとんどしない	66.1	65.9	66.4
⑦	1. いつもする	9.2	8.3	10.1
	2. ときどきする	41.8	37.1	46.6
	3. あまりしない	32.4	33.5	31.4
	4. ほとんどしない	16.6	21.1	11.9
⑧	1. いつもする	19.7	13.6	25.9
	2. ときどきする	34.7	32.4	37.0
	3. あまりしない	17.3	19.8	14.8
	4. ほとんどしない	28.3	34.2	22.3

質問項目	全体	性別	
		男子	女子
国語	1. とても好き	18.4	27.0
	2. 少し好き	46.0	50.1
	3. 少し嫌い	25.9	18.4
	4. とても嫌い	9.7	4.5
算数	1. とても好き	37.6	22.3
	2. 少し好き	31.1	31.8
	3. 少し嫌い	18.0	26.6
	4. とても嫌い	13.3	19.3
理科	1. とても好き	44.3	26.4
	2. 少し好き	37.9	45.2
	3. 少し嫌い	13.2	22.8
	4. とても嫌い	4.6	5.6
社会	1. とても好き	32.1	19.1
	2. 少し好き	36.7	39.3
	3. 少し嫌い	21.9	31.4
	4. とても嫌い	9.3	10.2
音楽	1. とても好き	23.8	53.8
	2. 少し好き	35.6	31.3
	3. 少し嫌い	25.1	10.8
	4. とても嫌い	15.5	4.1
体育	1. とても好き	79.2	50.3
	2. 少し好き	14.7	28.0
	3. 少し嫌い	4.2	14.7
	4. とても嫌い	1.9	7.0
図工	1. とても好き	66.2	58.9
	2. 少し好き	24.0	28.8
	3. 少し嫌い	7.0	10.2
	4. とても嫌い	2.8	2.1
家庭科	1. とても好き	39.7	58.2
	2. 少し好き	34.5	27.8
	3. 少し嫌い	14.5	10.1
	4. とても嫌い	11.3	3.9
学級委員 の 仕事や 関係	1. とても好き	8.3	9.7
	2. 少し好き	25.8	26.4
	3. 少し嫌い	38.6	40.9
	4. とても嫌い	32.3	23.0

質問項目	全体	性別	
		男子	女子
給食係	1. とても好き	15.2	14.6
	2. 少し好き	39.2	44.9
	3. 少し嫌い	30.5	32.2
	4. とても嫌い	15.1	8.3
保健係	1. とても好き	11.0	29.1
	2. 少し好き	33.8	46.3
	3. 少し嫌い	37.2	19.2
	4. とても嫌い	18.0	5.4
飼育係	1. とても好き	19.7	33.0
	2. 少し好き	30.0	34.0
	3. 少し嫌い	27.4	21.3
	4. とても嫌い	22.9	11.7
新聞係	1. とても好き	17.2	22.8
	2. 少し好き	34.9	36.6
	3. 少し嫌い	27.1	28.1
	4. とても嫌い	20.8	12.5
図書係	1. とても好き	22.2	25.9
	2. 少し好き	37.9	45.1
	3. 少し嫌い	25.4	21.9
	4. とても嫌い	14.5	7.1
清掃係	1. とても好き	6.2	7.8
	2. 少し好き	23.9	31.7
	3. 少し嫌い	36.1	37.6
	4. とても嫌い	33.8	22.9
コマまわし	1. たくさんある	34.9	14.0
	2. 少しある	38.5	47.7
	3. ほとんどない	16.6	24.8
	4. ぜんぜんない	10.0	13.5
かくれんぼ	1. たくさんある	49.1	50.7
	2. 少しある	33.7	35.7
	3. ほとんどない	11.7	10.7
	4. ぜんぜんない	5.5	2.9
ブラコン	1. たくさんある	44.8	58.2
	2. 少しある	31.1	29.0
	3. ほとんどない	14.2	8.0
	4. ぜんぜんない	9.9	4.8

質問項目	全体	性別	
		男子	女子
好きな科目	1. とても好き	22.7	18.4
	2. 少し好き	48.0	46.0
	3. 少し嫌い	22.2	25.9
	4. とても嫌い	7.1	9.7
好きな係や委員の仕事	1. とても好き	30.0	37.6
	2. 少し好き	31.4	31.1
	3. 少し嫌い	22.3	18.0
	4. とても嫌い	16.3	13.3
次の遊びをしたことがあるか	1. とても好き	35.4	44.3
	2. 少し好き	41.5	37.9
	3. 少し嫌い	18.0	13.2
	4. とても嫌い	5.1	4.6
好きな科目	1. とても好き	25.6	32.1
	2. 少し好き	38.1	36.7
	3. 少し嫌い	26.6	21.9
	4. とても嫌い	9.7	9.3
好きな科目	1. とても好き	38.6	23.8
	2. 少し好き	33.5	35.6
	3. 少し嫌い	18.0	25.1
	4. とても嫌い	9.9	15.5
好きな科目	1. とても好き	64.8	79.2
	2. 少し好き	21.3	14.7
	3. 少し嫌い	9.4	4.2
	4. とても嫌い	4.5	1.9
好きな科目	1. とても好き	62.6	66.2
	2. 少し好き	26.4	24.0
	3. 少し嫌い	8.6	7.0
	4. とても嫌い	2.4	2.8
好きな科目	1. とても好き	48.9	39.7
	2. 少し好き	31.2	34.5
	3. 少し嫌い	12.3	14.5
	4. とても嫌い	7.6	11.3
好きな係や委員の仕事	1. とても好き	9.0	8.3
	2. 少し好き	26.1	25.8
	3. 少し嫌い	37.2	38.6
	4. とても嫌い	27.7	32.3



質問項目	全体	性別	
		男子	女子
石けり	23.2	28.1	18.2
	21.0	20.1	22.0
	22.5	18.6	26.4
	33.3	33.2	33.4
すもう	11.1	18.6	3.5
	19.2	26.0	12.2
	26.2	27.2	25.3
	43.5	28.2	59.0
ゴムとび	15.4	9.6	21.4
	24.9	17.1	32.8
	22.7	20.4	25.0
	37.0	52.9	20.8
なわとび	51.4	38.8	64.2
	30.5	35.1	25.8
	11.8	16.4	7.2
	6.3	9.7	2.8
まますこと	8.0	2.9	13.3
	10.9	5.0	17.0
	16.9	9.2	24.7
	64.2	82.9	45.0
くマンがをか	29.7	27.8	31.6
	26.6	26.3	26.9
	21.4	20.8	22.0
	22.3	25.1	19.5
おにこっこ	56.9	53.8	60.2
	30.6	32.1	29.1
	8.8	9.9	7.6
	3.7	4.2	3.1
サッカー	47.8	72.4	23.0
	28.7	19.6	37.9
	16.2	5.4	27.1
	7.3	2.6	12.0
野球	26.7	44.5	8.5
	26.0	27.8	24.3
	25.5	17.8	33.4
	21.8	9.9	33.8

次の遊びをしたことがあるか

5)

質問項目	全体	性別	
		男子	女子
おり紙	35.3	24.2	46.5
	32.9	31.4	34.5
	21.2	28.1	14.2
	10.6	16.3	4.8
かんけり	33.5	39.8	27.0
	31.8	31.4	32.3
	19.6	15.3	24.0
	15.1	13.5	16.7
たこあげ	19.6	24.9	14.2
	34.7	33.9	35.4
	28.4	24.1	32.8
	17.3	17.1	17.6
けん玉	22.5	27.6	17.4
	33.9	31.6	36.1
	27.7	24.4	31.0
	15.9	16.4	15.5
あやとり	26.4	13.9	39.0
	31.8	22.9	41.0
	20.8	26.9	14.6
	21.0	36.3	5.4
木登り	22.0	24.4	19.6
	25.3	28.4	22.2
	24.3	22.4	26.3
	28.4	24.8	31.9
バスケット	15.7	18.9	12.4
	22.6	22.2	23.0
	22.9	21.3	24.6
	38.8	37.6	40.0
お手玉	14.3	9.1	19.6
	26.5	17.5	35.6
	26.8	25.2	28.4
	32.4	48.2	16.4
ビー玉	16.6	17.1	16.1
	24.5	20.7	28.4
	27.6	25.2	30.1
	31.3	37.0	25.4

次の遊びをしたことがあるか

5)



質問項目	全体	性別	
		男子	女子
5 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	3.3	4.6
	2. 少しやってみたい	9.7	16.3
	3. あまりやりたくない	47.6	53.6
	4. 絶対やりたくない	39.4	25.5
9 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	3.4	4.2
	2. 少しやってみたい	10.7	16.8
	3. あまりやりたくない	43.5	51.0
	4. 絶対やりたくない	42.4	28.0
6 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	18.3	20.8
	2. 少しやってみたい	26.5	29.6
	3. あまりやりたくない	30.0	29.0
	4. 絶対やりたくない	25.2	20.6
7 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	7.0	10.1
	2. 少しやってみたい	8.7	11.5
	3. あまりやりたくない	31.8	32.6
	4. 絶対やりたくない	53.3	45.8
8 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	8.5	10.1
	2. 少しやってみたい	10.1	8.7
	3. あまりやりたくない	31.8	31.0
	4. 絶対やりたくない	49.6	48.6
10 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	11.8	12.3
	2. 少しやってみたい	17.2	18.0
	3. あまりやりたくない	30.7	30.8
	4. 絶対やりたくない	40.3	41.9
7 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	24.3	19.0
	2. 少しやってみたい	51.3	48.4
	3. あまりやりたくない	17.1	21.7
	4. 絶対やりたくない	7.3	10.9
8 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	30.6	27.3
	2. 少しやってみたい	42.2	39.9
	3. あまりやりたくない	19.4	21.4
	4. 絶対やりたくない	7.8	11.4
8 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	11.3	10.3
	2. 少しやってみたい	45.6	40.0
	3. あまりやりたくない	31.6	34.0
	4. 絶対やりたくない	11.5	15.7
8 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	15.7	7.3
	2. 少しやってみたい	20.0	18.7
	3. あまりやりたくない	46.5	43.5
	4. 絶対やりたくない	21.3	21.8
8 次のようなことをやっている	1. とてもやってみたい	16.0	8.5
	2. 少しやってみたい	12.2	16.0
	3. あまりやりたくない	43.5	49.3
	4. 絶対やりたくない	21.3	20.9





質問項目	質問項目	全体		性別	
		男性	女性	男性	女性
おとなになっただら、やってみたい仕事	(婦警さん)	6.0	7.4	7.4	4.6
	・コ板前さん	19.6	18.2	18.2	21.1
	・クク前さん	31.8	27.1	27.1	36.5
	・さん	42.6	47.3	47.3	37.8
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	10.6	13.8	13.8	7.3
	2. 少しやってみたい	28.0	28.7	28.7	27.2
	3. あまりやりたくない	30.5	24.8	24.8	36.3
	4. 絶対やりたくない	30.9	32.7	32.7	29.2
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	10.8	15.8	15.8	5.8
	2. 少しやってみたい	9.3	11.0	11.0	7.5
	3. あまりやりたくない	16.2	14.9	14.9	17.5
	4. 絶対やりたくない	63.7	58.3	58.3	69.2
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	7.8	10.6	10.6	5.0
	2. 少しやってみたい	14.0	17.7	17.7	10.2
	3. あまりやりたくない	20.8	19.9	19.9	21.7
	4. 絶対やりたくない	57.4	51.8	51.8	63.1
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	15.5	19.0	19.0	11.9
	2. 少しやってみたい	22.6	21.6	21.6	23.7
	3. あまりやりたくない	20.4	18.0	18.0	22.9
	4. 絶対やりたくない	41.5	41.4	41.4	41.5
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	7.4	2.1	2.1	12.8
	2. 少しやってみたい	16.7	4.5	4.5	29.0
	3. あまりやりたくない	23.9	18.2	18.2	29.7
	4. 絶対やりたくない	52.0	75.2	75.2	28.5
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	11.7	9.9	9.9	13.5
	2. 少しやってみたい	19.1	16.1	16.1	22.2
	3. あまりやりたくない	28.8	24.8	24.8	32.8
	4. 絶対やりたくない	40.4	49.2	49.2	31.5
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	18.2	4.0	4.0	32.5
	2. 少しやってみたい	24.6	11.2	11.2	38.2
	3. あまりやりたくない	19.0	21.6	21.6	16.3
	4. 絶対やりたくない	38.2	63.2	63.2	13.0
おとなになっただら、やってみたい仕事	1. とてもやってみたい	11.9	6.4	6.4	17.5
	2. 少しやってみたい	23.0	15.4	15.4	30.8
	3. あまりやりたくない	27.2	25.1	25.1	29.4
	4. 絶対やりたくない	37.9	53.1	53.1	22.3

質問項目	質問項目	全体		性別	
		男性	女性	男性	女性
家族を言われるから、次女のような	1. たくさん言われる	18.5	18.5	18.5	18.5
	2. ときどき言われる	35.1	35.1	35.1	35.1
	3. ほとんど言われない	26.1	26.1	26.1	26.1
	4. ぜんぜん言われない	20.3	20.3	20.3	20.3
家族を言われるから、次女のような	1. たくさん言われる	23.1	23.1	23.1	23.1
	2. ときどき言われる	33.1	33.1	33.1	33.1
	3. ほとんど言われない	23.0	23.0	23.0	23.0
	4. ぜんぜん言われない	20.8	20.8	20.8	20.8
家族を言われるから、次女のような	1. たくさん言われる	10.0	10.0	10.0	10.0
	2. ときどき言われる	24.3	24.3	24.3	24.3
	3. ほとんど言われない	25.3	25.3	25.3	25.3
	4. ぜんぜん言われない	40.4	40.4	40.4	40.4
家族を言われるから、次女のような	1. たくさん言われる	6.9	6.9	6.9	6.9
	2. ときどき言われる	13.2	13.2	13.2	13.2
	3. ほとんど言われない	23.6	23.6	23.6	23.6
	4. ぜんぜん言われない	56.3	56.3	56.3	56.3
家族を言われるから、次女のような	1. たくさん言われる	5.2	5.2	5.2	5.2
	2. ときどき言われる	6.6	6.6	6.6	6.6
	3. ほとんど言われない	15.9	15.9	15.9	15.9
	4. ぜんぜん言われない	72.3	72.3	72.3	72.3
家族を言われるから、次女のような	1. とても賛成	10.1	13.9	13.9	6.3
	2. 少し賛成	32.7	38.4	38.4	27.0
	3. 少し反対	38.0	33.2	33.2	42.8
	4. 絶対反対	19.2	14.5	14.5	23.9
家族を言われるから、次女のような	1. とても賛成	11.1	15.9	15.9	6.0
	2. 少し賛成	22.8	27.1	27.1	18.3
	3. 少し反対	39.5	34.6	34.6	44.6
	4. 絶対反対	26.6	22.4	22.4	31.1
家族を言われるから、次女のような	1. 中学校	1.9	2.7	2.7	1.0
	2. 高校	26.6	32.8	32.8	20.2
	3. 専門学校	18.7	13.2	13.2	24.4
	4. 短大	15.7	11.5	11.5	20.1
進学希望	5. 4年制の大学	27.2	28.3	28.3	26.0
	6. 大学院	9.9	11.5	11.5	8.3

質問項目	全体	性別		質問項目	全体	性別		
		男子	女子			男子	女子	
16 おとなになったら、やってみたい仕事	3.7	5.7	1.6	17 将来、どんな人になりたいか	77.3	78.1	76.5	
	11.0	16.3	5.6		1. 40%以下	18.4	17.4	19.3
	29.4	26.9	32.0		2. 41~60%	4.3	4.5	4.2
	55.9	51.1	60.8		3. 61%以上	58.6	60.1	57.3
	8.5	1.4	15.7		1. 40%以下	32.6	30.6	34.3
	14.6	3.9	25.3		2. 41~60%	8.8	9.3	8.4
	23.5	19.4	27.7		3. 61%以上	18.2	22.2	14.1
	53.4	75.3	31.3		1. 40%以下	47.4	45.1	49.6
	9.0	1.4	16.6		2. 41~60%	34.4	32.7	36.3
	19.6	4.8	34.6		3. 61%以上	91.5	89.4	93.6
	23.6	18.9	28.4		1. 40%以下	5.8	6.7	4.8
	47.8	74.9	20.4		2. 41~60%	2.7	3.9	1.6
	16.3	8.9	23.7		3. 61%以上	53.5	64.1	43.4
	24.9	15.7	34.1		1. 40%以下	39.5	30.2	48.4
	22.1	19.8	24.5		2. 41~60%	7.0	5.7	8.2
	36.7	55.6	17.7		3. 61%以上	43.4	44.3	42.7
33.1	50.6	15.4	1. 40%以下	36.7	32.8	40.4		
21.7	23.5	19.9	2. 41~60%	19.9	22.9	16.9		
18.1	10.5	25.7	3. 61%以上	32.6	44.0	20.9		
27.1	15.4	39.0	1. 40%以下	35.6	31.2	40.1		
13.9	8.7	19.1	2. 41~60%	23.5	17.6	29.6		
18.8	16.4	21.3	3. 61%以上	8.3	7.2	9.4		
23.9	22.0	25.9	1. 40%以下	33.2	33.2	33.1		
43.4	52.9	33.7	2. 41~60%	49.6	45.5	53.1		
22.5	21.8	23.3	3. 61%以上	12.9	14.3	11.3		
25.2	22.4	27.9	1. 40%以下	4.3	6.0	2.5		
21.0	18.8	23.3	2. 41~60%	25.2	34.6	15.7		
31.3	37.0	25.5	3. 61%以上	24.9	25.2	24.6		
19.1	19.3	18.9	1. 40%以下	34.0	26.1	41.9		
24.5	24.6	24.4	2. 41~60%	15.9	14.1	17.8		
24.3	21.5	27.1	3. 61%以上	25.3	33.1	17.4		
32.1	34.6	29.6	1. 40%以下	31.2	33.9	28.6		
75.4	78.7	72.0	2. 41~60%	32.5	23.8	41.1		
21.8	18.2	25.4	3. 61%以上	11.0	9.2	12.9		
2.8	3.1	2.6						



質問項目	全体	性別	
		男子	女子
18 切子に採 りた いど い か な 大 人 に 採 り た い ど い か な 大 人	1. とてもなりたい	59.0	69.2
	2. 少しなりたい	29.5	23.5
	3. あまりなりたいくない	7.1	5.4
	4. ぜんぜんなりたいくない	4.4	1.9
19 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	10.0	14.9
	2. 少しそう	14.8	27.3
	3. 少し違う	27.9	34.4
	4. ぜんぜん違う	47.3	23.4
20 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	24.9	18.1
	2. 少しそう	26.5	32.9
	3. 少し違う	29.1	26.6
	4. ぜんぜん違う	22.0	17.4
21 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	10.5	10.5
	2. 少しそう	39.2	39.2
	3. 少し違う	28.9	28.9
	4. ぜんぜん違う	21.4	21.4
22 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	19.7	19.7
	2. 少しそう	28.6	28.6
	3. 少し違う	46.8	46.8
	4. ぜんぜん違う	4.9	4.9

質問項目	全体	性別	
		男子	女子
18 切子に採 りた いど い か な 大 人 に 採 り た い ど い か な 大 人	1. とてもなりたい	59.0	69.2
	2. 少しなりたい	29.5	23.5
	3. あまりなりたいくない	7.1	5.4
	4. ぜんぜんなりたいくない	4.4	1.9
19 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	16.7	8.8
	2. 少しそう	27.1	23.4
	3. 少し違う	37.0	41.4
	4. ぜんぜん違う	19.2	26.4
20 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	21.0	17.7
	2. 少しそう	37.5	44.3
	3. 少し違う	28.9	28.7
	4. ぜんぜん違う	12.6	9.3
21 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	19.8	18.5
	2. 少しそう	33.7	42.3
	3. 少し違う	32.2	30.2
	4. ぜんぜん違う	14.3	9.0
22 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	28.0	25.9
	2. 少しそう	34.2	35.9
	3. 少し違う	26.0	27.7
	4. ぜんぜん違う	11.8	10.5
23 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	9.4	8.9
	2. 少しそう	10.0	13.9
	3. 少し違う	30.3	33.4
	4. ぜんぜん違う	50.3	43.8
24 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	19.9	9.2
	2. 少しそう	27.3	21.0
	3. 少し違う	25.9	36.6
	4. ぜんぜん違う	26.9	33.2
25 あなた はど んな 子 か	1. とてもそう	21.2	19.1
	2. 少しそう	27.8	30.4
	3. 少し違う	31.5	30.8
	4. ぜんぜん違う	19.5	19.7